



総合教育センターだより

Be Connected



センターマスコット センタ君

平成24年6月18日(月)
第39号(通算第122号)
京都府総合教育センター
TEL: 075-612-3266

平成23年度の教育相談実施状況から

平成23年度の教育相談実施状況について、概要をお知らせします。

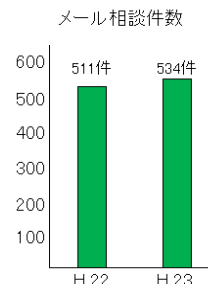
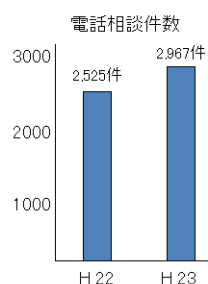
電話相談

24時間対応



母親からの相談が多数

昨年度の相談件数は2,967件で、前年度から18%増加しました。子育てや親子関係を巡る相談が12%と最も多く、中でも子育ての不安に関する母親の相談が目立ちました。



メール相談



子ども本人からの相談が過半数

昨年度の相談件数は534件で前年度から5%増加しました。子ども本人からの相談が55%と過半数を占めました。特に、女子中・高校生からの友達関係についての相談が多くありました。

来所相談



不登校についての相談が増加

来所相談は、総合教育センターや北部研修所へ来ていただいた方に、専門のカウンセラーや精神科医が相談に応じるものです。

来所延べ人数は1,786人で、相談内容では不登校に関するものが59%を占めました。不登校の背景には複雑な家庭環境、虐待、いじめ、精神疾患等が関係しているものが多くありました。

巡回相談

巡回相談では、各教育局等へ月1回程度訪問して教育相談を行っています。相談者は63%が保護者でしたが、丹後地域での需要が多く、件数の殆どを占めました。

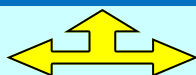
京都府総合教育センター教育相談の申込方法

子どものことで相談したい。コンサルテーションを受けたい。子どもや保護者に教育相談を紹介したい。

来所教育相談

- 総合教育センター、北部研修所で臨床心理士、精神科医等が面接します。
- 広いプレイルームでのプレイセラピー
- 落ち着いた面接室
- 子ども、保護者へのカウンセリング
- 教職員へのコンサルテーション

ふれあい・すこやか テレフォン



075-612-3268 (センタ-)
0773-43-0390 (北部)

巡回教育相談

- 乙訓・山城・南丹・丹後教育局、アグリセンター大宮で、臨床心理士等が面接します。
- 子ども、保護者へのカウンセリング
- 教職員へのコンサルテーション

※ 最後のページにも教育相談に関連する記事を掲載しています。

平成24年度 研修講座の紹介



平成24年度後期(9～2月)の特徴的な講座を紹介します。
詳しくは、『平成24年度研修講座の概要』をご覧ください。



専門研修 ～教科～

番号	講座名	講座開催日	お薦めポイント
407 414 421	小学校「授業づくり」講座 理科Ⅲ 〔 図画工作科Ⅲ 体育科Ⅲ 〕	9月上旬に 各学校へ別途 連絡	実践報告と研究授業を通して、「児童の学び」 を育てるための指導計画や授業づくりの在り方 について学べる講座です。 会場：京都府公立小学校

専門研修 ～領域等～



番号	講座名	講座開催日	お薦めポイント
505	人権教育講座Ⅱ（北部） 関西大学 教授 石元 清英	10月19日(金)	同和問題に関わる歴史や現在の状況、解決に 向けた今後の展望のほかに、校内の人権研修を 活性化するための具体的な方法について学びま す。 会場：北部研修所
508	「京の子どもを守る」講座 上越教育大学大学院 教授 藤岡 達也	10月1日(月)	東日本大震災後の防災教育・防災管理の現状 と課題をふまえ、学校における防災教育の在り 方を学べる講座です。 会場：総合教育センター
514	教育相談<上級>講座Ⅰ ー描画をとおした 子どもの理解と関わりー 京都大学医学部附属病院 准教授 岸本 寛史	10月12日(金)	描画を通して子どもを理解し、深く関われる ようバウムの実施方法、理解の仕方等を体験的 に学びます。研修講座を通して、子ども達とコ ミュニケーションを深める新たな可能性が開け るかもしれません。 会場：総合教育センター
515	教育相談<上級>講座Ⅱ ー面接法（フォーカシング） に学びー 関西大学臨床心理専門職大学院 教授 池見 陽	11月22日(木)	フォーカシングは、成功するカウンセリング の特徴を抽出する研究から開発された自己理解 と心理療法の技法です。研修講座を通してゆっ くりとご自分のところに寄り添う体験を味わう ことができます。 会場：総合教育センター
524	特別支援教育 「個別の指導計画の活用」講座 ー作成のポイントと授業づくりー	10月23日(火)	児童生徒が生き生きと活躍できる授業を目指 し、指導案づくりを通して、個別の指導計画の 作成や活用について考えていきます。 会場：北部研修所
530	特別支援学級「自立と社会参加に 向けた学級づくり」講座	11月6日(火)	学校での学習や生活の基本単位である「学級 づくり」について、集団での高まり、安心感な ど、さまざまな視点から考えていきます。 会場：総合教育センター

専門研修 ～領域等～

番号	講座名	講座開催日	お薦めポイント
536	特別支援教育<発展> 「二次的障害の支援」講座 ー発達障害のある子どもの不登校・ひきこもりー 鳥取大学 教授 井上 雅彦 (株)夢空間 所長 永島 健一 所員 北橋 惇	10月19日(金)	不登校・ひきこもりを経験された方からアスペルガー障害に関わる貴重なお話を伺うとともに、応用行動分析の専門家から、二次的障害によって起こる不適応について学びます。すべての校種の先生方にお薦めします。 会場：総合教育センター
537	特別支援教育<発展> 「支援の連携」講座ー子どもの「できる」を拡大する支援と情報移行ー 立命館大学 教授 望月 昭 他	9月18日(火)	発達障害等のある子どもの自立と社会参加を、支援の連携の視点で考えます。進路やキャリア教育に関わる中学校・高等学校・特別支援学校の先生方にお薦めします。 会場：総合教育センター

専門研修 ～コミュニケーション能力～

番号	講座名	講座開催日	お薦めポイント
601	コミュニケーション講座Ⅰ オフィスSACRA 代表 櫻井 直子	10月30日(火)	コミュニケーションの基本スキルを学ぶとともに、電話対応などを含む実例を多く取り入れた事例研究や演習を通して、コミュニケーションの実践的スキルを身につけます。 会場：総合教育センター
602	コミュニケーション講座Ⅱ(北部) (株)キャリア総研 代表取締役 実成尚子	10月26日(金)	職場等での日常のコミュニケーションを見直し、演習を通じて相手の話を「聴くこと」、相手に自分の思いを「伝えること」等の実践的コミュニケーションスキルを習得します。 会場：北部研修所
604	指導に生かす コミュニケーション講座b (株)オフィスあん 代表取締役 松下直子	10月2日(火)	自己分析した上で相手との信頼関係の築き方、相手の思いを理解して受けとめる方法、状況を整理しながら自らの意志を発する技術など、教員に求められる実践的コミュニケーションスキルを学びます。 会場：総合教育センター

専門研修 ～チームマネジメント能力～

番号	講座名	講座開催日	お薦めポイント
701 702	危機管理講座	9月28日(金) 10月5日(金)	重大事案の発生時における危機対応の在り方や学校事故等の予防策などを学び、危機管理能力の向上を図ります。 会場：総合教育センター 701 北部研修所 702
807	学校事務職員講座 名城大学大学院 研究科長・教授 木岡 一明 他	10月5日(金)	教育マネジメントの観点から、これからの学校づくりに求められる方向性と事務職員像について理解を深めます。 会場：総合教育センター

特別研修

番号	講座名	講座開催日	お薦めポイント
853 854	中学校学力の状況分析・活用講座	1月22日(火) 1月25日(金)	中学校学力診断テスト等から生徒の学力状況を明らかにするとともに、分析・検証方法や授業改善の方策、校内研修の推進等について理解を深めます。 会場：総合教育センター 853 北部研修所 854

教育相談における学校の指導ポイント

～チームで子ども達に関われる体制を～

児童生徒のことで気になることがあれば、積極的に同学年や身近な先生に声をかけ、チームでの関わりを持つようにしましょう。教育相談では、困難な事例ほど、校内の先生方によるチームでの関わりが求められます。チームによる援助には、次のような利点があります。

子どもにとって

- 子ども達が多様な関わりをもてるようになり、学校に安心感をもちやすくなります。

教員にとって

- 一人の子どもに対する関わりから得られたチームワークが、他の子ども達との関わりにも役立ちます。
- さまざまな教員の立場から情報を交換する中で、子どもへの理解が深まるとともに、関わり方を広げることにつながります。
- 外部機関との連携がしやすくなります。



ハンドブック「先生、わかってな」ー子どもの理解と支援のためにー

「教育相談、特別支援教育のエッセンスを凝縮した一冊」



「すぐに暴力を振るう」「じっとしてられない」「ルールが守れない」といった子どもの行動や状態は、大人にとって、しばしば「困ったこと」であり、対応に苦慮しがちです。

しかし、その子どもにとってその行動が持つ「意味」、また、子どもと関わる大人にとっての「意味」が理解できれば、対応の仕方も変わり、新たな展望が見えてくることも多くあります。

このハンドブックは、総合教育センターが平成15年度から20年度まで研究の成果として発信した内容をもとに作成しました。第1章、第2章では、教育相談と特別支援教育の具体的な事例に基づいて、児童生徒理解を深めることができます。また、第3章では、保護者との信頼関係の築き方についてふれることができます。

ITEC（センターのホームページ）からダウンロードできます。

講座報告

福島県 新地町教育長が講演

校長講座 6月5日（火）

福島県新地町教育委員会 村山正之教育長

東日本大震災後、京都府教育委員会では福島県に支援チームを派遣してきました。この度、新地町の村山教育長から、子どもたちや先生、地域の人たちが苦しい状況の中で、力を合わせて支え合いな

がら震災を乗り越えて来られた様子を報告していただきました。



人材育成支援室より お薦めの一冊

読書にはストレスを解消する効果もあると言われています。短い時間でも、本の世界に入り込んでみてはどうでしょうか。人材育成支援室の方から皆様にお薦めの一冊を紹介します。

小川洋子著「博士の愛した数式」(新潮社)

愛した博士の数式



小川洋子 著
交通事故で新たな記憶が80分しか持たなくなった老数学者と家政婦母子の心のふれあいを描いた作品。随所に数学用語が出てきますが、数学に馴染みのない人でも抵抗なく読み進められます。

ほのぼのとした心のふれあいとともに、数の美しさ、神秘性を味わってほしいと思います。(選者：K. K)